

令和3年度（県立伊勢原高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上(法令の遵守、服従規律の徹底)	職員一人ひとりが、教育公務員としての自覚や意識を高め、公務内はもちろんのこと、公務外における行動においても、生徒・保護者・県民の信用を損なわないよう、意識啓発を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職による講話、職員全員への面接を実施した。 ・朝の打ち合わせや職員会議等で各種報道や資料等を活用し、具体的な事例を通して意識啓発に努め、法令順守の意識を高めた。
わいせつ、セクハラ行為及びパワハラ行為の防止	わいせつな事案や、生徒、職員及び教育実習生に対するセクハラ及びパワハラ行為のない職場を実現する。	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職による講話、教科準備室の整理、アンケートを実施した。 ・職員に携帯電話や電子メールの適切な使用と申請等を徹底した。 ・不祥事防止会議等で県からの発出された資料や報道内容等の資料を使って研修を行い、わいせつ、セクハラ防止について職員の意識を深めた。
体罰、不適切な指導の防止	基本的人権の尊重の精神に基づき、体罰や不適切指導のない学校を実現する。	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職による講話、関連資料の配付・掲示、アンケートを実施した。 ・県の作成した体罰チェックシートを使い、不適切な指導にならないよう職員の意識を高めた。 ・部活動の顧問同士、お互い声を掛け合う環境づくりに努めた。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、成績処理、調査書発行等に係る不適正事案のない学校を実現する。	<ul style="list-style-type: none"> ・成績処理についてゆとりのある予定を立てることに努めた。 ・学年やグループで複数チェック体制を整え、点検した。 ・感染防止対策に係る新しい形式に沿った入選要項を作成し、手順の確認を徹底した。 ・職員が事故防止の意識を持ち、落ち着いて取り組めるよう採点、模擬面接等の研修の機会を設けた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の取扱いについて細心の注意を払うとともに、その流出を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職による講話、調査を実施した。 ・教務手帳や成績に関する書類は、施錠できる場所に安全に保管した。 ・試験や成績処理期間中には裁断機に誤廃棄防止の無いよう、注意喚起の張り紙をした。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	道路交通に関する法令を遵守し、酒酔い・酒気帯び運転及び交通事故の防止を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職による講話、啓発資料配付を実施し、ポスターを掲示した。 ・県の交通事故防止チェックシートを用いて安全運転の意識を高めた。 ・不祥事防止会議で事例を交えて研修を行い、職員の教育公務員としての自覚を高めた。

財務事務等の適正執行	学校徴収金・団体徴収金等の執行と会計管理を「私費会計事務処理の手引き」にもとづいて適正に行うとともに、帳票類の整理を行う。	・私費会計マニュアルを基に様式等を見直し、事故防止に努めた。 ・保護者通知や通帳との照合を細かくチェックし、不備のないように指導した。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	法令・マニュアル等の諸規定に基づき、日常の点検やチェックを行い、適正に業務を遂行する。	・起案の徹底、報告・連絡・相談の励行に努めた。 ・学年やグループ内で役割は分担されているが、複数での業務執行のチェックができる体制を整えるよう呼びかけた。
教員経験の浅い職員による不祥事の防止	採用後5年以内の職員ならびに通算任用期間が5年以下の臨時的任用職員や会計年度任用職員による不祥事を未然に防止する。	・管理職や同僚による声かけの励行や相談体制の整備を進め、社会人、公務員としての自覚や不祥事を起こさない意識、行動を醸成する。

○ 令和3年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和4年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

達成状況

本年度、9項目について不祥事防止会議等で職員への注意喚起と意識改革を図った。

毎月事故・不祥事防止の研修会を実施し、学校全体で不祥事防止に取り組む体制ができた。今年度も、毎回チェックシートを活用したことで、自己の振り返りを行うことができた。

また、わいせつ事案等の根絶に向け、行政課から配布されたDVD視聴による有意義な研修会を実施し、継続的な意識啓発の点において、大きな成果があった。

入学者選抜に係る事故防止では、これまでの事故事例を職員全体で共有した。また、感染防止対策に係り従前と異なる対応について、県からの資料を丁寧に確認し、マニュアルを総点検する等事故防止に努めた。

令和4年度への取り組み

職員室等を定期的に整理することを呼び掛け、整理整頓に努め書類の紛失や提出日の遅延をなくすよう取り組む。また、毎月の不祥事防止に係る「標語」の掲示や、校内研修会をさらに充実させ、職員の事故防止意識やコンプライアンス体制の強化をすすめる。

事故・不祥事防止の取り組みにゴールはなく、今後も、様々な形態で効果的なプログラムを検討し、学校組織全体で事故・不祥事防止に努めていきたい。